

津麦ニュース 平成31年産 第3報

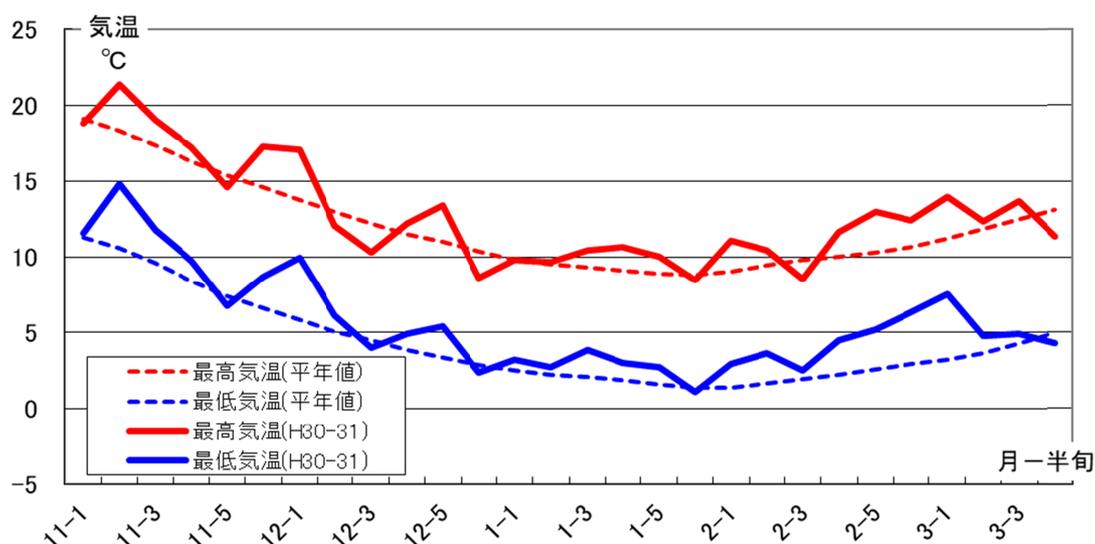
平成31年3月26日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

**麦の生育は早くなっています。
各ほ場の生育状況をよく観察し、適切な管理を行いましょ**

< 気象経過 >

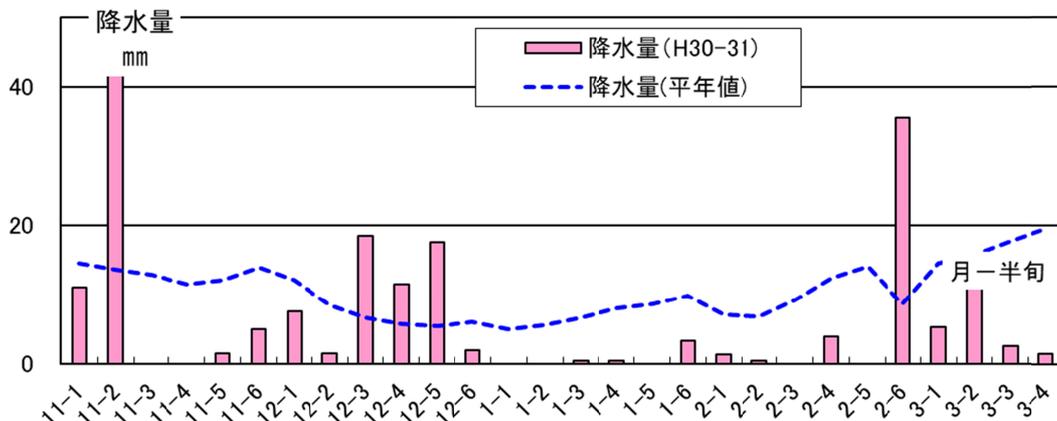
気温

一時的に低温になった時期はあったものの、11月以降高温傾向が続いています。



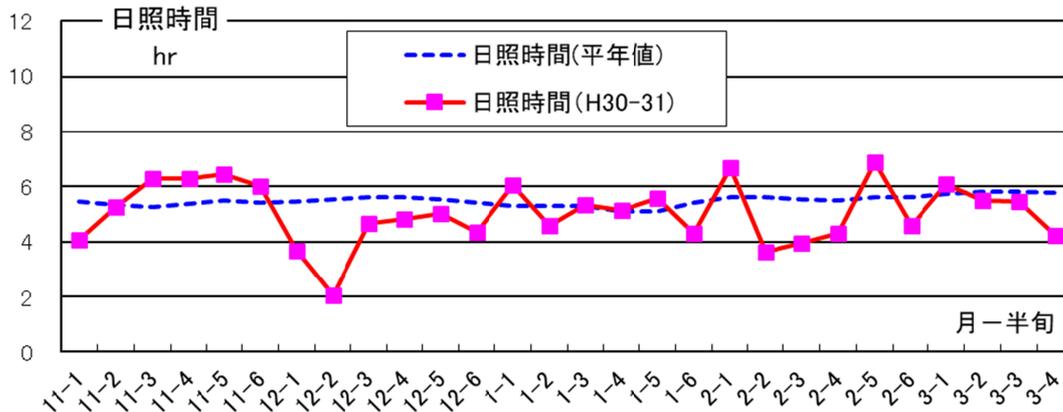
降水量

11月は雨の日が多く、11月の降水量は平年よりかなり多くなっています(平年比180%)。12月は1度に降る雨の量が多く、降水量は平年比144%となりましたが、1月に入ってからは晴天が続き、2月第6半旬を除き、降水量は少なくなっています。



日照時間

日照時間は12月に雨が続いた影響で、平年より少なくなりましたが、12月以降は平年よりやや少ない程度で推移しています。



< 麦の状況 >

生育状況

暖冬の影響で、生育は平年より非常に早くなっています。

生育基準ほ場の調査結果を前年同時期と比較すると、草丈は前年より長く、葉齢の展開も進んでいます。葉色は薄く肥料切れを起こしています。これは、高温傾向の影響により、肥料の溶出が進んだためと思われます。

平成31年産（平成30年播）小麦生育基準ほの状況 【平成31年3月19日現在】

地区	品種	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
芸濃 萩野	あやひかり	11月18日	47.9	684	9.2	36.3
安濃 粟加		11月12日	44.1	650	8.9	32.9
白山 川口		11月2日	54.8	452	10.8	31.9

(参考) 前年同時期の生育状況

【平成30年3月23日時点】

地区	品種	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
芸濃町 椋本	あやひかり	11月27日	22.1	587	5.5	40.2
安濃町 田端上野		11月10日	38.7	780	7.5	45.9
白山町 川口		11月7日	40.2	746	7.4	43.4
一志町 石橋		11月5日	48.3	588	8.8	41.3

病害虫発生状況

現在のところ、特に病害や、虫害は観察されていません。

< 今後の対策 >

追肥

麦は肥料でとると言われるほど、肥料の依存度が高い作物です。積極的な追肥を行い、収量を確保しましょう。

11月上旬播きの場合

現在、止葉抽出期に近づいてきています。穂肥は2～3kg/10a(チッソ成分)を目安に施用しましょう。

11月中、下旬以降播きの場合

播種時期が遅いと、麦の生育期間は短くなり、肥料の利用率は高まる傾向にありますが、本年は葉色が薄く、肥料切れを起こしているほ場が多くなってきました。

2回目の穂肥を、止葉抽出期に2～3kg/10a(チッソ成分)を施用しましょう。

肥効調節型肥料を使っている場合

高温の影響で緩効性成分の溶出が例年より早いため、肥料切れを起こしている圃場が多くなってきています。止葉抽出期に生育が過剰でなければ、1～3kg/10a(チッソ成分)を目安に追肥しましょう。

小麦の生育予測

平成31年3月20日現在

品種	播種日	出穂期の 予測日	開花期の 予測日	成熟期の 予測日 (平年との差)
あやひかり	11月1日	4月6日	4月17日	5月28日(1.1日早い)
	11月10日	4月11日	4月21日	5月31日(1.3日早い)
	11月20日	4月16日	4月25日	6月4日(0.9日早い)
	11月30日	4月19日	4月28日	6月6日(0.7日早い)

三重県農業研究所作成の生育予測システムVer.9.2による予測です。

気象庁アメダス津観測地点(平均は直近10ヵ年)を使用しました。

赤かび病防除

今年は平年より出穂期・開花期ともに早まることが予想されます。早めの準備を行い、麦の生育状況に注意して、開花始期～開花盛期の適期を逃さないように防除しましょう。
